

令和6年度 教育目標及び教育方針

1 校訓 「自立 協働 創造」

2 経営理念

「主体的に考え、仲間と共に支え合い、高め合いながら新たな価値を創造していく力」を伸ばしていく学校づくりをめざし、その実現に向けて、次の3点に重点を置いて取り組んでいく。

- (1) 新たな課題に**主体的**に対応できる力の育成 ……自分の頭で**考える** 自らを鍛える
- (2) 組織的**協働的**に課題解決できる集団の育成 ……**仲間とともに**伝え合い、認め合い、高め合う
- (3) 自律的に**学び続ける**人材の育成 ……**より良くなる**ために

3 教育目標 「主体的に学び、心豊かで創造性に満ちた生徒の育成」

4 教育方針

- (1) 学校教育を生涯学習の基盤と捉え、基礎基本の定着を最重要視し、生徒の主体的な学習態度の育成と教師の授業力向上に向けた研究実践を行う。 **【自立】**
- (2) 人間尊重の精神の涵養に努め、生徒の心の問題に寄り添い、しなやかでたくましく生きる力を育む教育を推進する。 **【自立】**
- (3) 仲間を大切にし、互いの想いを伝え合い、認め合い、新たなものの見方や考え方に触れることで、集団として高めていく教育を推進する。 **【協働】**
- (4) ふるさとを大切にし、生徒・教職員・保護者・地域が協働して「地域に誇れる学校」づくりを推進する。 **【協働】**
- (5) 生徒の規範意識、自己肯定感、キャリア感覚を高め、なりたい自分に向かって進めるように、確かな自己実現を支援する。 **【創造】**

5 めざす生徒像

- (1) 学力向上に向け、主体的・計画的に自らの課題に立ち向かう生徒（**知**）
 - ① 学習規律を守り、共に学んだり質問したりして意欲的に授業に取り組む。
 - ② 自分の考えをもち、仲間との学び合いを通して、自らを高めようとする。
 - ③ 規則的な生活を送り、継続して家庭学習に取り組む。
- (2) 規範意識をもち、挨拶や思いやりの心で、感謝・感動できる生徒（**徳**）
 - ① 仲間を思いやり、認め合い、協力し合う姿勢を大切にする。
 - ② さわやかで明るい挨拶をする。
 - ③ 礼儀や責任を重んじ、自らを律し、規則を守る。
 - ④ 感性を磨き、物事に感動する。
 - ⑤ 自分たちを見守り、支えてくれる地域や人々に感謝する。
- (3) 夢や目標の実現に向け、積極的・継続的に取り組むたくましい心身をもつ生徒（**心と体**）
 - ① 将来への目標を立て、達成に向けてねばり強く取り組む。
 - ② ボランティア活動など啓発的活動に積極的に参加する。
 - ③ 部活動等を通して、健全でたくましい体力の維持向上に努める。

6 めざす教師像

- (1) 教職に対する強い使命感、生徒に対する愛情と責任感をもつ教師
- (2) 教育の専門家としての力量を高め、生徒とともに学ぶ教師
- (3) 教職員相互の意思疎通を図り、同僚と協働できる教師
- (4) 生徒・保護者・地域から信頼される教師

7 めざす学校像

(1) 活力ある学校

① 学習活動、生徒会活動、部活動に積極的に取り組む生徒の育成

(2) 笑顔と挨拶のあふれる学校

① 生徒相互、生徒と先生、先生相互、先生と保護者の信頼関係の構築

② 笑顔とあたたかい言葉かけによる人間関係づくり

(3) 潤いのある、凛とした美しい学校

① 学習に適した教室環境整備・清掃の徹底、ゴミが落ちていない校舎

② 季節の花がある校舎

(4) 集団の自治能力と向上心のある学校

① 仲間意識、愛校精神の醸成

② 自ら考え、自ら問題解決ができる生徒の育成

(5) 保護者・地域から信頼される学校

① 組織的な教育力の向上に努め、安心・信頼できる学校づくりの推進

② 学校評価を生かした開かれた学校づくりの推進

③ ホームページや学校便りによる積極的な学校情報の発信

8 重点目標

(1) 授業づくり・生き方づくり

① 主体的・対話的な学習活動を通し、自分の思いや考えを深める授業づくりを推進する。

② 1人1台端末などのICT機器を効果的に活用する方法について工夫する。

③ 授業規律を定着させるとともに、能動的な学習態度の育成を図る。

④ 課題解決に向けた自主的な学習週間(家庭学習)の定着を図る。

⑤ 道徳の時間を中心として道徳教育の充実を図り、正しく判断し行動できる力を育成する。

⑥ 将来の夢や目標をもち、進路実現に向けたキャリア教育の実践を図る。

⑦ 図書館司書と連携し、図書の利用や読書活動の増進を図る。

(2) 生活習慣づくり・人間関係づくり

① 生徒会等の自治活動を推進し、学校行事や挨拶運動等の充実を図る。

② 教育相談を充実させ、生徒理解や支援に努め、いじめ・不登校等の問題に真摯に取り組む。

③ 個人支援計画表や支援シートを活用し、生徒個々の状況に応じた特別支援教育を推進する。

④ 学級経営の充実を図り、信頼に基づいた人間関係を構築する。

⑤ 部活動等の積極的な参加を促し、バランスのとれた心身の育成をめざす。

(3) 保健・安全・教室等の環境づくり

① 心身の健康に関心をもたせ、自他を大切にする保健・安全教育を推進する。

② 環境美化活動や奉仕活動を通して、情操教育の推進を図る。

③ 定期的な安全点検や補修及び避難誘導訓練や交通指導を適宜行い生徒の安全確保に努める。

(4) 小学校や家庭・地域との連携

① 小学校との相互授業参観や連絡会を通して、継続的な教育活動を推進する。

② 生徒の規範意識や基本的生活習慣の定着を目指し、PTAとの協働を図る。

③ 外部講師等、地域の人材を活用し、開かれた学校づくりを推進する。

④ 部活動の地域連携・地域移行について、令和7年度までの3年間を改革推進期間として取り組む。

(5) 組織運営

① 教育目標を共有し、各分掌や個人の役割分担を明確化し、職員一人ひとりが参画意識をもつことで組織の機能化を図る。

② 何のためにその活動をするのか目的意識を明確にし、共通理解することで、組織の効率的な運営と職責への自覚、並びに職員間の連携強化を図る。

③ 報告・連絡・相談を密にし、保護者への対応等も誠意と熱意をもった迅速な対処を図る。

④ GIGAスクールとしての効果的な取組を組織的に推進する。

⑤ 教職員の業務適正化に向けた取組を組織的に推進する。